

J E N E S Y S 2 . 0

メディア 第12陣（対象国：ブルネイ）

1. プログラム概要

本事業は「JENESYS2.0」の一環として、クール・ジャパンを含め、わが国の強みや魅力、日本人の価値観への理解促進を目指し、ブルネイより、訪日体験を発信することを目的に構成された大学生47名が来日し、9月23日から9月30日までの7泊8日のプログラムで滞在しました。

2. 参加国・人数

ブルネイ 47名

3. 訪問地

東京都（全員）

京都府（グループA 23名）

徳島県（グループB 24名）

4. 目的

- 1) 日本に幅広く興味・関心を有するアジア諸国の青少年が、クール・ジャパンを含め、我が国の強みや魅力等の日本ブランド、日本人の価値観への理解を深め、帰国後、日本の魅力について積極的に発信する。
- 2) アジア諸国と日本の青少年の相互理解と交流をはかり、将来の礎を築く。
- 3) 日本とアジア諸国の関係を深め、親日家を育てる。
- 4) 日本国内の地方の国際化のため、グローバル人材としての青少年の育成をはかる。

5. 日程

9月23日（火）

羽田空港より入国、来日オリエンテーション

9月24日（水）

そなエリア（東京臨海広域防災公園）視察、地方へ移動

9月25日（木）～28日（日）：グループに分かれ地方訪問

グループA：京都府

9月25日（木）

朝日放送、地域概要講義（京都文化交流コンベンションビューロー）、平安神宮視察

9月26日（金）

和菓子作り体験、同志社大学訪問、ホームステイ

9月27日（土）～28日（日）

ホームステイ、歓送会、ワークショップ

グループB：徳島県

9月25日（木）

徳島県庁、徳島新聞社、四国放送、阿波おどり会館、大塚製薬 徳島工場/能力開発研究所視察

9月26日（金）

四国大学訪問（藍染体験・スタジオ体験・書道体験）、ホームステイ

9月27日（土）～28日（日）

ホームステイ、歓送会、ワークショップ

9月29日（月）

都内へ移動

報告会（訪日成果、帰国後活動計画発表）

9月30日（火）

羽田空港より出国

6. 写真

6-1. 共通プログラム：オリエンテーション

	
9/23 オリエンテーション（東京都）	9/23 オリエンテーション（東京都）
Orientation (Tokyo)	Orientation (Tokyo)

6-2. 都内プログラム：全グループ

	
9/24 防災：そなエリア（東京臨海広域防災公園）（東京都）	9/24 防災：そなエリア（東京臨海広域防災公園）（東京都）
Disaster Prevention: SONA AREA TOKYO (The Tokyo Rinkai Disaster Prevention Park) (Tokyo)	Disaster Prevention: SONA AREA TOKYO (The Tokyo Rinkai Disaster Prevention Park) (Tokyo)

6-3. 地方プログラム

① グループA（京都府）

	
9/25 地域産業：朝日放送（大阪市）	9/25 地域産業：朝日放送（大阪市）
Regional Industry: Asahi Broadcasting Corporation (Osaka City)	Regional Industry: Asahi Broadcasting Corporation (Osaka City)



9/25 地域概要紹介：京都文化交流コンベンションビューロー（京都市）

Introduction of the Region:
Kyoto Convention Bureau (Kyoto City)



9/25 地域概要紹介：京都文化交流コンベンションビューロー（京都市）

Introduction of the Region:
Kyoto Convention Bureau (Kyoto City)



9/25 歴史・伝統文化：平安神宮（京都市）

Historical and Traditional Culture:
Heian Jingu Shrine (Kyoto City)



9/26 地場産業：和菓子作り体験（京都市）

Local Industry: Wagashi-making experience
(Kyoto City)



9/26 地場産業：和菓子作り体験（京都市）

Local Industry: Wagashi-making experience
(Kyoto City)



9/26 学校交流：同志社大学（京都市）

School Exchange: Doshisha University
(Kyoto City)



9/26 学校交流：同志社大学（京都市）
School Exchange: Doshisha University
(Kyoto City)



9/27 ホームステイ（京都市）
Homestay (Kyoto City)



9/28 ホームステイ歓送会（京都市）
Farewell Party with Host Family (Kyoto City)



9/28 ホームステイ歓送会（京都市）
Farewell Party with Host Family (Kyoto City)



9/28 ワークショップ（京都市）
Workshop (Kyoto City)



9/28 ワークショップ（京都市）
Workshop (Kyoto City)

② グループB（徳島県）

	
9/25 地方自治体表敬訪問：徳島県庁（徳島市）	9/25 地域概要紹介：徳島県庁（徳島市）
Courtesy Call: Tokushima Prefectural Government (Tokushima City)	Introduction of the Region: Tokushima Prefectural Government (Tokushima City)
	
9/25 地域産業：徳島新聞社・四国放送（徳島市） Regional Industry: Tokushima Shimbun/Shikoku Broadcasting Co., Ltd. (Tokushima City)	9/25 地域産業：徳島新聞社・四国放送（徳島市） Regional Industry: Tokushima Shimbun/Shikoku Broadcasting Co., Ltd. (Tokushima City)
	
9/25 歴史・伝統文化：阿波おどり会館（徳島市） Historical and Traditional Culture: Awaodori Kaikan (Tokushima City)	9/25 歴史・伝統文化：阿波おどり会館（徳島市） Historical and Traditional Culture: Awaodori Kaikan (Tokushima City)



9/25 地域産業：大塚製薬株式会社 徳島工場
(徳島市)

Regional Industry: Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd., Tokushima Factory (Tokushima City)



9/25 地域産業：大塚製薬株式会社 能力開発研究所
(徳島市)

Regional Industry: Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd., Human Resource Development Institute (Tokushima City)



9/26 学校交流：四国大学 藍染め体験 (徳島市)

School Exchange: Experience of Ai Indigo Dyeing, Shikoku University (Tokushima City)



9/26 学校交流：四国大学 藍染め体験 (徳島市)

School Exchange: Experience of Ai Indigo Dyeing, Shikoku University (Tokushima City)



9/26 学校交流：四国大学 スタジオ体験
(徳島市)

School Exchange: Experience of Studio Work, Shikoku University (Tokushima City)



9/26 学校交流：四国大学 スタジオ体験
(徳島市)

School Exchange: Experience of Studio Work, Shikoku University (Tokushima City)



9/26 学校交流：四国大学 書道体験（徳島市）
School Exchange: Experience of Calligraphy,
Shikoku University (Tokushima City)



9/27 ホームステイ（徳島市）
Homestay (Tokushima City)



9/28 ホームステイ歓送会（徳島市）
Farewell Party with Host Family
(Tokushima City)



9/28 ワークショップ（徳島市）
Workshop (Tokushima City)

6-4. 共通プログラム：報告会



9/29 報告会（東京都）
Reporting Session (Tokyo)



9/29 修了証授与（東京都）
Presentation of Certificate (Tokyo)

7. 参加者の感想（参加者の感想文の抜粋）

◆今回の訪問を通じて、もっとも印象に残ったこと、帰国後伝えていきたいこと

7-1. グループA（訪問地：京都府）

・日本は豊かな文化や歴史遺産に恵まれていると同時に、技術やインフラの面でも最も進んだ国の一つです。世界の国々の国際化が進む中で、文化（伝統）と開発（技術やインフラ）という、相反する物の間で完璧な均衡を保つ国は限れていますが、日本はこの二つの重要な点において上手くいっています。日本人は言葉の壁にもかかわらず、外国人に対してとても丁寧で助ける事を惜しみません。外国人に分かりやすい方法で一生懸命意思疎通を図ってくれました。日本の技術やインフラは人々の要求に答える為だけでなく、日々の生活が円滑に進むための手助けになっていると思いました。

・私が最も感銘を受けた事はホストファミリーの“おもてなし”です。彼らは親しみやすい人達でしたし、私をとっても歓迎してくれその親切さに圧倒されました。日本人の特徴はブルネイ人と大きな差異はなく、考え方は似ていて、それがお互いに上手くやっていける理由の一つではないかと気がつきました。私は、瞬間に日本人を好きになり、彼らは愛すべき人達で、話し易い人達でもあります。ホストファミリーを本当の親のように感じましたし、彼等から自分が愛されていると感じました。もう一つ感動した事は交通手段です。日本人の殆どが移動に自転車を使い、行く先々で人々が自転車に乗る姿を見ましたが、高齢者でも自転車に乗っていることにとても驚きました。日本人は皆、活動的で忙しくしていることが好きであるという印象を受けました。

・個人的には期待と不安とが半々で来日しました。欧米のメディアでは日本人は暴力的で強欲、そして伝統を重んじる国民として描かれることが多いのですが、実際に接した日本人は心優しく、親は子供たちを大事にしており、そして誰もが外国人に親切でした。私は今回の訪日で日本の優れた面をふたつ知りました。古さと新しさです。日本人は近代化を進める一方で、和服、舞子、茶道、健康的でおいしい和食など伝統文化を熱心に守っています。また、同志社大学とのプログラムで私の夢であった日本の大学訪問がかないました。

7-2. グループB（訪問地：徳島県）

・私がもっとも感心したのは日本の国民性です。見知らぬ人にも親切で、常に時間に正確で、きちんとしています。更にもっとも重要なのは、目標を達成するために一生懸命に働くということです。それ故、日本は非常に発展した国、特に技術の面において発展した国になったのだと思います。帰国したら、日本人の阿波踊りに対する情熱や、藍染といった徳島の文化について伝えたいと思います。日本人が実際に使っている先端技術についても話します。そして何よりも、日本人は自分たちの文化について外国人に喜んで教えようとしてくれる事が印象的でした。

・日本は豊かな文化を持ち、人々はとても親切で、そしてアジアの他の国と比べてとても清潔で、安全な素晴らしい国です。日本は色々な分野において非常に発達していますが、グローバル化が進む中でもその歴史や文化を守っています。驚くべきことは、私が経験したことは多分日本についての1%ぐらいのことでしかないのでしょうか。そしてもっと発見し、体験することがまだまだたくさんあります。是非また日本に戻って、この美しい国についてもっと知りたいと思います。

・今回の来日で多くのことを学びました。日本のハイテクについてはよく知られていますが、私は実際に日本人のライフスタイルや文化について知ることができました。今回私が訪れて興味深かった場所は、東京臨海広域防災公園（そなエリア）、新聞放送会館、四国大学です。一番おもしろかったのは徳島の伝統的な踊り「阿波踊り」を習ったことで、日本人と一緒に踊り楽しい時を過ごしました。また私の一番のお気に入り、ホストファミリーと共に過ごしたホームステイです。ホストファミリーと共に保育園の運動会に行ったり、バドミントンやバスケットボール、卓球をしたり、互いの家族のことを話したりしました。このプログラムで素晴らしく、記憶に残る体験をすることができました。

以上